

(4) 審査結果について: 権現堂公園

(ア) 一次審査(20 点満点)

審査基準、審査項目(指定管理料等の見積り、指定管理者管理運営状況、申請内容と現況調書の比較(供用日や供用時間)、埼玉県内に本店のある団体への加算)に基づき、資格・書類審査を実施しました。

(イ) 二次審査(100 点満点)

プレゼンテーション及び選定委員によるヒアリング等による審査を実施しました。

	審査項目	配点	権現堂公園 管理事務所	D 団体 JV 代表: 県内 県外	E 団体 JV 代表: 県外 県内
—	一次審査(書類審査)	20	16.0	7.5	7.0
1	基本的な考え方	15	12.3	11.6	8.1
2	効果的かつ確実な管理運営	20	14.0	15.1	11.7
3	効率的な運営	10	7.4	5.7	4.7
4	応募者の経営基盤	10	8.0	10.0	6.0
5	緊急事態への対応	15	12.6	11.3	7.9
6	SDGs に配慮した運営	10	7.1	7.4	4.9
7	公園の特性を活かした管理・運営	20	13.3	14.7	9.3
	合計点	120	90.7	83.4	59.6

※ 合計点は各選定委員の合計点を平均した点数のため、各審査項目の平均点数を合計した点数と異なる場合があります。

(ウ) 選定理由

- ・ これまでの実績に加え、新たに幸手市観光協会と組むことで、より公園の魅力を伝えられる体制になっている提案について評価できる。
- ・ 桜や曼珠沙華など魅力の一つである樹木、植栽についての理解が深く、定期的な樹木診断など維持管理のノウハウがあり、公園散策の安全性の確保が評価できる。
- ・ 桜まつりを始めとした様々なイベントのノウハウを活かし、新たなイベントの企画が期待できる。また、ドッグラン事業や蜂蜜採取事業が提案されており、新たな収益事業の実現が期待できる。

(参考) 選定委員の主な意見

団体名	意見
権現堂公園管理事務所	<ul style="list-style-type: none"> 公園散策の安全性の確保など、これまでの管理実績による安定した事業計画であることが評価できる。 地元観光協会と協同することで、より魅力を伝えられる体制になっており、SNS を使った PR をしてインバウンドを含めて利用者を増やすなど意欲的な取組は評価できる。 新しい試みとして提案された公園内の樹木のハチミツ採取事業は公園の特性を活かした施策として期待できる。 桜まつりなどイベント以外の期間に利用者を増やすための新規事業計画には課題がある。 子ども・障害者・外国人等を含む多様な利用者の声を聴取して、ニーズを踏まえた新規事業の提案をする点は弱いと感じる。 公園の魅力向上につなげるため、同じ又は類似の課題を抱える県内外の団体との意見交換により、情報のアップデート（取組、意識改革）を図った方がよい。
その他の団体に対する主な意見	<ul style="list-style-type: none"> 平日の利用者数増加策が提案されている点や夏場に子ども連れ客を誘致できる施策が提案されている点は評価できる。 地域との連携として、新たな団体（学校、地域農家等）を対象とした提案がなされている点が評価できる。 サービス向上の一策として、夜間利用や早朝開園など、猛暑時にも公園の利用を促進する取組が提案されていることが評価できる。 指定管理料の見積もりが令和7年度予算よりも大幅に高額である点が懸念される。 さまざまな施策の集客のために広報が必要であるが、広報の取組が弱い。SNS の活用方法について具体的な知見がない点が懸念される。 公園の管理運営を通じた多世代、多様な主体の交流によって、公園の活性化につながるような取組の提案がもっとあると良かった。 桜祭り以外の閑散期の利活用を促進すべきであるとの提案の視点は重要である。相撲やアニメなどの他事業者との連携を提案している点は興味深い。 提案団体は地域に詳しいため、地元との交流を広げていく可能性、経験に基づく提案がみられた。

- | | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none">• 計画が全体的に具体性に欠ける。利用者増のための各種イベントの提案内容について実現可能性を感じられず、質疑でもそれらがクリアにならなかった。• 当公園の魅力の向上に資する取組が見当たらない。現状ある資源をどのように活用し、さらに良くする視点と、現段階で利活用の余地があり、指定管理者としての新たな提案の部分が読み取ることができなかった。• 緊急時の管理体制など、運営にあたる人員の体制整備や対応の迅速さに不安がある。 |
|--|---|

※ どの団体に対する意見であったかについては非公開事項です。